

# 町立幼稚園児を募集



平成19年度の幼稚園児を募集します。活動しやすい園庭や安全な遊具、身近な自然とふれあえる環境の中で、子どもの社会性や感性を育てます。

町立幼稚園では、園児一人ひとりの個性を生かしながら、心のふれあいを通して、人や

自然を大切にできる豊かな心や基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、明るく伸び伸びと行動できる幼児の育成に努めています。

別表 募集人数(見込み)

幼稚園名	3歳児	4歳児	5歳児	電話番号
大網幼稚園	各30人	41人	23人	☎(72) 3 0 0 8
瑞穂幼稚園		40人	3人	☎(72) 0 2 9 8
増穂幼稚園		40人	39人	☎(72) 0 2 9 9
白里幼稚園		14人	11人	☎(77) 2 2 0 2

\* 4・5歳児の募集人数は、10月末の在籍数を基準に決定とするため、増減することがあります

- ・1年保育(5歳児) 平成13年4月2日〜平成14年4月1日生
- ・2年保育(4歳児) 平成14年4月2日〜平成15年4月1日生
- ・3年保育(3歳児) 平成15年4月2日〜平成16年4月1日生

- ▼願書配布期間 11月1日(水)〜10日(金)
- ▼願書配布場所 各幼稚園 9時〜16時
- ▼教育委員会管理課 8時30分〜17時15分
- ▼願書受付日時・場所 11月6日(月)〜10日(金) 9時〜16時
- ▼入園を希望する幼稚園 募集人数別表のとおり
- ▼その他 応募者多数の場合は公開抽選。入園予定者となればなかつた幼児は、在園する園児の転出、入園の辞退があった場合に、名簿記載順位で連絡します。

町立幼稚園または教育委員会管理課学校教育係 ☎(70) 0 3 7 2

## ごみを減らして資源再生利用 促進奨励金制度を上手に利用

資源再生利用促進奨励金の制度をご存じですか？ この制度は、PTA、子ども会、区・自治会等が団体(グループ)で、家庭から出る新聞・雑誌・ダンボール・

資源再生利用促進奨励金制度を上手に利用しましょう。

アルミ缶などの資源を回収し、資源回収業者に引き渡すことで、ごみを減らし、できるだけ資源を再生利用しようとするものです。回収実績に基づき、奨励金を交付します。

## 表彰

多年にわたる交通事故防止活動に対する取り組みなどが認められ、関東交通安全協会連合会長から次の方々が表彰されました(敬称略、順不同)。

### ◇交通栄誉章「緑十字銅章」

#### 交通安全功労者

- 内山昌毅 (南今泉)
- 小川芳夫 (柿餅)

#### 優良運転者

- 大塚正枝 (みどりが丘)
- 内山悦子 (細草)

## 在宅介護支援センターだより 軽度生活援助事業

町では、介護保険の対象とはならないものの、日常生活上の軽度な援助をお願いしたいという方に「軽度生活援助事業」を行っています。

住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう、うま

## ごみの直接搬入の時間が変わりました

環境クリーンセンターへのごみの直接搬入の時間が一部変更になりました。

利用の際は、ご注意ください。

- ①外出・散歩の付き添い
- ②弁当・食材の買い物
- ③布団類の日干し、クリーニングの搬出入
- ④家屋の軽微な修繕、電球・蛍光灯の取り替えなど
- ⑤朗読・代筆等の援助
- ⑥その他軽微な日常生活上

## 年末調整等説明会

年末調整のしかた、法定調書や給与支払報告書の作成・提出方法など、事務手続きを円滑に行ってもらうため、平成18年分年末調整等に関する説明会を開催します。

期日	時間	会場	対象地域
11月16日(木)	10時〜12時	山武市成東文化会館のぎくプラザ 大ホール	山武市
	14時〜16時		横芝光町、芝山町
11月21日(火)	10時〜12時	東金文化会館 小ホール	東金市
	14時〜16時		大網白里町 九十九里町

問東金税務署 ☎(52) 3 1 2 1 税務課住民税係 ☎(70) 0 3 2 1

## 手話通訳者を派遣します

聴覚障害者等が講演会に参加するときや通院時等に、手話通訳者の派遣を行います。

申請方法は健康福祉課、申請方法は健康福祉課窓口に提出またはFAXで申込み

利用料金原則無料 問・健康福祉課社会福祉係 ☎(70) 0 3 3 0



## 育つ 育てる

今年になって子どもが起きた放火事件や殺人事件が何件もありました。

新聞の報道をみると「どうしてこんなことになったのか」「首をかける動機が多いのです。こういった犯罪はもろもろ特殊な例なのですが、それにしてはわたしたちが子どもを育てるに比べて、我慢する力・自分の感情をコントロールする力の足りない子どもが増えてきているように感じます。

幼いころからの甘やかしと生活リズムの乱れがあるのではないかと感じます。

一時期、赤ちゃんの成長のために、赤ちゃんの要求はできる限り受け入れてあげましようという風潮がありました。

昔の母親は、家事が忙しく、赤ちゃんにつきまわりの生活は物理的にできなかったのですが、今の母親は赤ちゃんにつきまわりの生活が可能で、わが子はかわいしい、要求を受け入れてあげれば機嫌が良く、親のストレスも少なくなっていくのです。

ところが、我慢することを知らない赤ちゃんは、我慢できない幼児になってしまいま

す。そして我慢する力を身につけられないまま成長してしまつたのです。赤ちゃんを必要以上に甘やかさず、幼児のころから物事の善悪をしつかり教え、叱るときはきちんと叱ることが大切だと思います。

もつひとつ大きな問題は、生活リズムの乱れです。昔に比べて今の子どもは夜更かしをするようになっていきました。夜10時以降も起きている子ども(1歳児・3歳児)の割合は、1980年と2000年で比較すると20%台から50%台と大幅に増加しています。

中高生になると深夜0時を過ぎて起きていて子どもが多くなっています。80%以上の報告もあつきます。

夜更かしをすると生活リズムが狂い、心身の活力が低くなり、いろいろな感が高まることいわれています。脳内ホルモンの分泌が異常になってしまうのです。また、当然睡眠不足になり「眠い」「考えがまとまらない」などと訴えることになっていきます。

昔から言われるように早寝早起きは、心身の健やかな成長のために大事なことです。できれば、幼児のうちには保護者の方が意識して早起きを中心掛け、また早く寝られるように工夫してあげましょう。

問教育委員会管理課 エスポワール指導員 ☎(70) 0 0 7 2